その本はそこに　読書案内 24　～三重を刺激する大人のローカル誌～

ＮＡＧＩ　凪　（月兎舎）　春・夏・秋・冬号/年　❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖

■今回の読書案内は、三重県の地域情報誌 NAGI と出版社（月兎舎）です。
理念は・・・

凪とは、風が止み、波の穏やかな状態。世間の荒波を逃れ、心安らかなひとときを、との思いを込めました。創刊は 2000 年 6 月。もうすぐ 20 周年を迎えます。世の中が便利になる一方で、地方では少子高齢化が加速し、年々活力が失われつつあります。

そんな中で、自らの価値観によって地場産業や伝統文化の継承、環境保全などに取り組み、地域を良くしたいと努力する人々がいます。

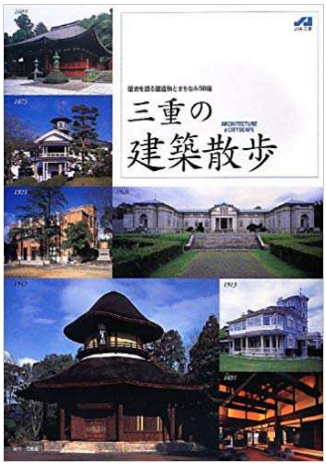
そうした「人」を切り口に、NAGI は地域の宝を掘り起こし、情報発信に努めてきました。サステナブルな社会をめざして活動する「人」を探し、世に伝えていく仕事を。インターネットの即時性とは異なる、紙媒体のスローな発信力を信じて。(HP より)

■　NAGI-71　空き家を食堂に　＜2017 冬号特集：古くて新しい異空間＞

川沿いの土蔵、城下町の町家、茅ぶき民家…　新しいオーナーが古い建物を磨き直した再生建築のレストラン、カフェが増えています。その土地ならではの歴史と工夫、意匠が秘められた特色ある建物を受け継ぎ誰もが気軽に訪れることのできる飲食店へとリノベーションした人たちの思いを伝えます。

右写真は、この号に掲載されている、いなべ市阿下喜（あげき）の上木食堂で、地元旅館の解体を聞いた若者が、名古屋のシティボーイを誘ってつくったお店。また、下写真は、昭和 11 年に建築された旧阿下喜小学校校舎を保存活用する「桐林館（とうりんかん）」の阿下喜美術館を地域おこし協力隊か転身した方がきりもりしています。支部では秋に三重県いなべ阿下喜のまち歩き企画中です！

■月兎舎さんは、うさぎ小屋ということみたいです。編集の方は女性が多く、「三重の建築散歩」では三重県の建築の歴史を伝え、「スロー食堂Ⅰ・Ⅱ」では古民家活用店など、素敵なお店ばかり掲載されています。

■2019 春号は、NAGI-76・町の本屋なくしてええの？

2000 年代に入ってから町からどんどん書店が姿を消しています。書店は町の文化発信地。人生を変えるかもしれない一冊を探しに地域の本屋さんへ足を運んでみませんか。　　自由貸出可　（黒野）